

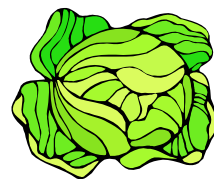
アグリーいな

第29号

エゴマ種子の無料配布!

エゴマ（ジュウネン）は、「ジュウネン食べると、十年長生きできる。」とも言われる健康に良い作物です。猪苗代町でエゴマの栽培が広まれば、農業振興のみならず町民の健康づくりにも役立つと考えられることから、今回「アグリーいな」でとれたエゴマの種子を猪苗代町民に限り1戸20g以内で無料配布することとしました。

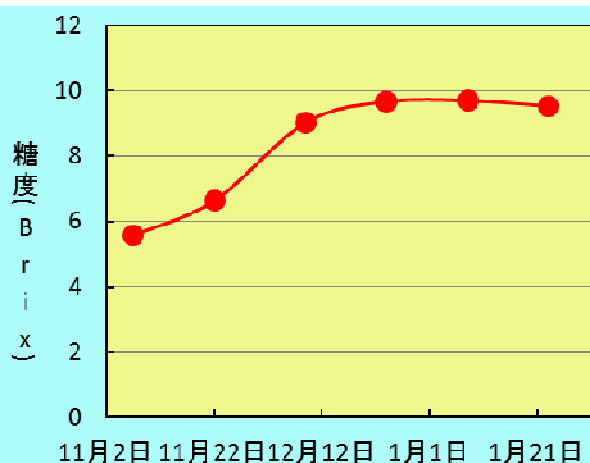
20gの種子でエゴマを1a（10m×10m）程度栽培することができます。数に限りがありますので、エゴマの栽培を希望する方はなるべく早く「アグリーいな」に申し込んでください。



雪下キャベツは本当に甘い!

「アグリーいな」で栽培したキャベツをそのまま畑に放置し、雪の下になったキャベツの糖度を調べました。その結果、11月から12月にかけて糖度が上昇し、雪の下から掘り出したキャベツの糖度は10近くまで上昇していました（図）。

また、雪の下から掘り出したキャベツはみずみずしく、直売所等で販売可能な品質を維持していました。



冬期間におけるキャベツ糖度の変化

キャベツの芯の部分で糖度計で調査した結果を示す。



積雪82cm（1月8日撮影）

水稻の直播栽培

平成25年には、ひとめぼれ、ヒメノモチと紫黒米の朝紫を供試して“水稻の鉄コーティング直播栽培”を実施しました。その結果は以下の通りです。

1. 結果の概要

(1) 平成25年のひとめぼれの出穂期は平成24年より4日早くなりました。

表1 直播栽培の播種期、出芽期、出穂期

品 種	播種期	出芽始め	出芽揃い	出穂期
ひとめぼれ	5月22日	5月28日	6月 3日	8月23日
ヒメノモチ	5月24日	5月31日	6月 6日	8月22日
朝紫（紫黒米）	5月24日	6月 3日	6月10日	8月25日
ひとめぼれ（前年）	5月21日	5月26日	6月 1日	8月27日

(2) ひとめぼれの精玄米重は480kg/10aであり、2年連続してある程度の収量を確保できました。ヒメノモチと朝紫の精玄米重は約400kg/10aと少なく、直播栽培には向いていない可能性があります。（図1）

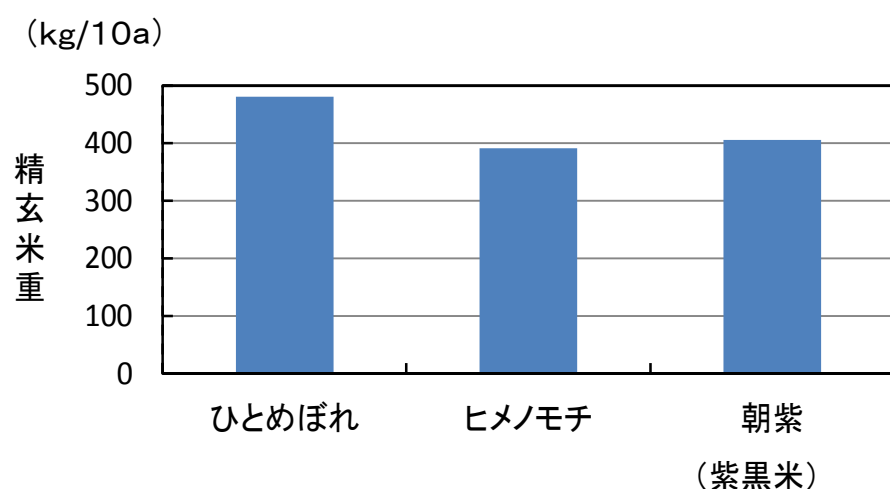


図1 直播栽培の収量

2. 技術的な改善点

(1) 直播栽培のひとめぼれで移植栽培に近い収量を得るためには、播種期を早める必要があるものと考えられます。

(2) 田面が露出すると除草剤が効かなくなるので、代かき作業をていねいに行い、できるだけ均平に仕上げる必要があります。

「天のつぶ」ブランド化のための施肥法試験

現在、高級米「いなわしろ・天のつぶ」としてのブランドを確立する事業を実施しています。その一環として、窒素の施肥法試験を実施しましたのでその概要をお知らせします。

1. 施肥設計

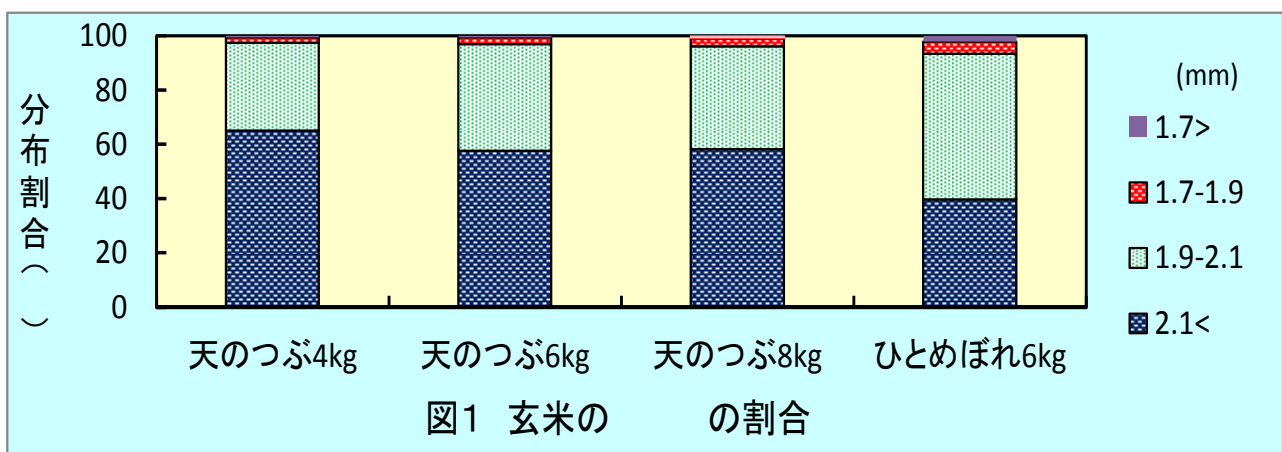
基肥窒素量 4kg/10a、6kg/10a、8kg/10a の試験区を設定して施肥法試験を実施しました。追肥は、3区共通で7月22日に窒素成分で2kg/10a 施肥しました。

2. 試験結果

- (1) 基肥窒素量 4kg/10a では、穂数が少なく、精玄米重 521 kg/10a と低収量でした。基肥窒素量 8kg/10a までの範囲では、基肥窒素量が多いほど増収となりました（表1）。
- (2) 図1に示すように、「天のつぶ」は「ひとめぼれ」より 2.1mm以上の厚さのある玄米が多く、玄米粒がやや大きい傾向にあります。

表1 収量構成要素と収量

区名	穂数 (本/㎡)	1穂籾数 (粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	わら重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)
4kg	297	89.3	88.6	22.5	764	521
6kg	385	88.1	84.3	22.6	765	623
8kg	443	86.5	85.1	22.6	714	721



「天のつぶ」ブランド化のためには、食味・品質の向上が最も重要です。多肥栽培をすると食味品質が低下するおそれがあるので、注意する必要があります。

☆「天のつぶ」イメージキャラクターは裏面



「いなな」と「つぶぶ」です!!

町農産物等ブランド化推進委員会では、町内認定生産者により生産された県オリジナル水稲品種「天のつぶ」をブランド化し、「いなわしろ天のつぶ」として推進していきます。キャラクターとロゴマークも完成し、町民の皆さんに身近なブランド米として愛されるよう、頑張りますっ!! キャラクターの「いなな（稲の妖精）」と「つぶぶ（米ほたる）」も宜しくお願いします。



お知らせ

いなわしろケモノ塾 第9回 タヌキ等について知ろう! 第10回 外来種について知ろう!

町内で「ケモノ」による様々な被害が発生しています。そこで、このワルサする「ケモノ」の特性を知り、より効果的に「ケモノ」の被害を防いでいただくため、毎月『いなわしろ ケモノ塾』を開講しています。

第9回は「タヌキ等について知ろう!」第10回は「外来種について知ろう!」です。クイズなどを交えて楽しく学べますので、ご近所やご家族お誘いあわせの上で参加ください。

- | | | |
|-------|--|-----------------------|
| ■日 時 | 第 9回 | 2月16日(日) 9時00分~10時00分 |
| | 第10回 | 3月16日(日) 9時00分~10時00分 |
| ■場 所 | 猪苗代町役場 3階 正庁 | |
| ■申込方法 | 農林課に氏名・住所・連絡先をご連絡ください。
電話 62-2116 FAX 62-5175
メール nourin@town.inawashiro.fukushima.jp | |
| ■参加費 | 無料 | |
| ■定 員 | 各30名 | |



アグリいな

猪苗代町字坂下4527番地

開所日 平日 8:30~17:15

(猪苗代町地域農業活性化センター)

TEL 0242-85-7816

FAX 0242-85-7836

Mail agriina@oregano.ocn.ne.jp